

BCG 予防接種の説明書

<p>結核は結核菌の感染で起こります。乳幼児は結核に対する抵抗力（免疫）が弱いので、全身性の結核症にかかったり、結核性の髄膜炎になることもあり、重い後遺症を残す可能性があります。</p> <p>ワクチンを接種することで重症になりやすい乳幼児期の結核を防ぐ効果があります。</p>	
接種回数・方法	1回、管針法（スタンプ方式）
対象年齢	生後1歳未満の児 (標準的な接種期間は、生後5か月以上8か月未満)
BCG 接種後の経過と副反応	<p>接種後10日頃に接種したところに赤いポツポツができ、3週間後には腫れと周囲の赤みが強くなります。6週間後にはもっと強くなり、膿（うみ）がたまることもあります。2か月を過ぎると反応はおさまってきて、3～4か月頃にはかさぶたもとれ、小さな傷あとが残るだけになります。これは異常反応ではなく、BCG 接種により抵抗力（免疫力）がついた証拠です。包帯をしたり、絆創膏を貼ったりしないで、そのまま普通に清潔を保ってください。</p>
	<p>接種後1～5日以内に接種した部位に一つ一つの針跡が赤く腫れ、ときに膿（うみ）を持つような反応が起こった場合（コッホ現象）は、結核菌に感染している場合があるので、接種された医療機関または健康増進課予防接種係（0197-34-2905）までご連絡ください。</p>
受けることができない人	<ul style="list-style-type: none"> ○明らかに発熱のある人（37.5℃以上の場合） ○重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人 ○その日受ける予防接種に含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人 ○結核その他の疾病の予防接種、外傷等によるケロイドの認められる人 ○結核の既往のある人 ○医師が不相当と判断した人
予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人	<ul style="list-style-type: none"> ○心臓病、肝臓病、腎臓病、血液の病気などの治療を受けている人 ○以前に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発しん、じんましんなどアレルギーを思わす異常がみられた人 ○今までにけいれんを起こしたことがある人 ○過去に免疫不全の診断がなされた人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人 ○予防接種に含まれる成分にアレルギーがある人 ○発育で経過観察といわれている人 ○結核患者と接触のあった人
ワクチン接種後の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○接種後は、接種部位が自然に乾燥（息を吹きかけたりあおいだりしない）するまでの約20～30分間は待合室で待機し、保護者の髪の毛や衣服等、その他の部位と接種しないようにしてください。 ○接種当日は、過度な運動を控えましょう。 ○接種当日の入浴は問題ありませんが、注射部位を強くこすことは避けましょう。 ○このワクチンとほかのワクチンの同時接種を希望する場合は、医師にご相談ください。